むき卵のような美肌の美容皮膚科医

片桐衣理先生

profile

衣理クリニック表参道院長。美容内科・美容皮膚科医。女性医師ならではの視点で、内外両面からのアンチエイジング治療に取り組む。丁寧なカウンセリングに美容のプロ達からも信頼が厚い。

衣理クリニック表参道
住所　東京都港区北青山3-5-30入来ビル4F
☎03-5786-0077　URL：http://www.eri-clinic.com/
診療時間　11:00～20:00　休診日　毎週火曜、第1・第2・第3日曜
診療メニュー：イオン導入、ケミカルピーリング、レーザー治療など

肌本来の底力をあげることが、美肌への近道です

取材前日、2時間しか寝ていない（！）とは思えない、ツルンとキメ細やかな肌の片桐先生。

「若いころから毛穴の開きがコンプレックスで、実は化粧品放浪歴が長いの。今まで新製品や日本未発売のものまで、あらゆるコスメを試し、散財しました（笑）。でもやっている割には、結果がともなっていないと気がついて、一度リセットしたんです」

高価な美容液などもすべて捨て、とにかく保湿にこだわったシンプルなケアに切り替えたそう。

「それからです、肌が劇的に変わったのは。結局、自分の肌の底力を整えることが、美肌のための基本なんです」

ご自身のクリニックでは、自らレーザーによる毛穴ケアとピーリングを定期的に。自宅では片桐先生が開発に携わったコスメでのシンプルなケア。「今はこのコスメを基本に、朝・晩や肌の状態に合わせて、使い方をアレンジしています。それで充分なんですよ」。

長い化粧品放浪の果てにたどりついたシンプルケア

家でのスキンケアは、自ら開発したコスメシリーズで。“落として”“保湿する”だけの、シンプルな4品です。「これを使い始めて肌が揺らぐことがなくなったし、他の美容成分も効くようになりました」。クレンジングは朝晩。「寝ている間も皮脂分泌されるので、朝はTゾーン中心にクレンジングを。洗顔フォームは使いません」。

（左から）イースペシャル　クレンジングジェル 200ml ¥5,250、同モイスチャーローション 150ml ¥7,350、同モイスチャージェル 120ml ¥7,350、同アクティブクリーム AO　30g ¥21,000／衣理クリニック表参道

化粧水は「ダブルローション」使いで肌の奥までうるおい補給

片桐先生が実践し、そしてオススメなのが“ダブルローション”というケア法。①まずは化粧水を含ませたコットンパックをし、②その後さらに化粧水を手のひらで温め、顔を覆うようにつけます。「この方法だと、肌の奥までしっかり水分が入りますよ」。

夜はクリームパックで肌の元気をチャージ

「肌に元気がないな…と感じたときは、クリームでパックをしています。目元、口元などを避けてクリームを顔全体に厚めに塗って、しばらくおきます。量をケチったらダメ。終わったらデコルテまでのばして完了。わざわざパックを買わなくてもいいんです」

基本のシンプルケアに肌状態に合わせて美容液をプラス

肌の変調や気候の変化には、ビタミンC美容液や保湿ジェルで対応。（左）活性酸素のダメージから肌を守る。フィトコレクティブジェル　30ml ¥7,875、（右）ニキビ・肌荒れに。セラム10　30ml ¥9,450／衣理クリニック表参道